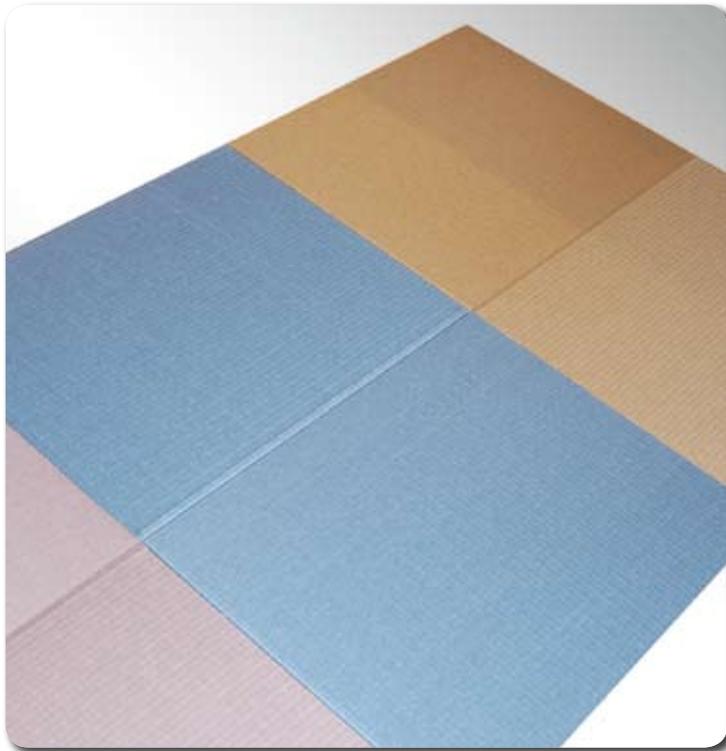


認定番号 H21-7

天然素材とバイオマスを活用した

シルク軽量未来畳

有限会社 畳工房ヨシオカ



畳床に、天然シルクやヤシの実繊維、軽くて炭と同様バイオマス発泡フォームを利用した畳。

石油から作られたポリスチレンフォームが主流のなかで、国産バイオマスを原料とした。ほか、丹後ちりめんの産地ならではの「天然シルクの端切れ」を活用。



バイオマス発泡フォームの上に天然シルクやヤシの実繊維で作ったマットを重ねてクッション性を持たせる。



天然シルクの端切れを集めて作ったマット。

ECO スタイル

原材料

畳床には天然シルクおよびヤシの実繊維、バイオマス発泡フォームを使用。軽量、通気性を実現。畳表には、現代のライフスタイルに合わせてデザインしたイグサを使用。

ECO スタイル

製造・流通段階

植物成分の特徴を生かし、生物親和性、炭と同様の吸放湿性、静電気帯電防止性、低VOC（揮発性有機化合物）、抗菌消臭性、森林浴効果など、従来の石油製品にない機能を付与。

ECO スタイル

使用段階

畳床に使用している植物発泡フォームは、日常のかつ長期に使っていただける「身近なバイオマス製品」。毎日この畳にふれることで、幅広い年齢層の方が環境に対する意識を高められることも期待している。

ECO スタイル

廃棄段階

バイオマス発泡フォームは土に返して微生物の力で生分解しやすくすることも可能で、燃やしてもダイオキシンなどの有害物質を発生しない。バイオマス製品としてリサイクルし、新たな製品を生み出すことが可能で、ゴミの減量化や省資源化にもつながる。

●リサイクルできる「バイオマス発泡ボード」

時代の流れとともに現代の気密性の高い住宅には、畳の床材もワラ床から、木質ボード・石油プラスチック発泡スチロール系の軽い素材へと変化した。それに伴い、近年では石油プラスチック発泡スチロールの環境リサイクル問題が話題となり、その問題に対応すべく、京都大学名誉教授白石信夫先生と共同開発で軽くて炭と同様の植物性バイオマス発泡ボードを開発した。

有限会社 畳工房ヨシオカ

所在地

京都府与謝野町字明石 808-1

TEL

0772-42-3318

FAX

0772-43-2318

URL

<http://tatamikobo.co.jp>

E-mail

yoshioka@hyper.ocn.ne.jp